

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

## 魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次  
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



### 第2864回 例会報告

2013年3月22日

点鐘・握手

ロータリーソング「我等の生業」(S. A. Aさんのリードでアカペラで)

ゲスト並びにビジターの紹介 なし

### 誕生祝

#### 3月23日 稲盛夫人



妻は昭和23年に上市から嫁に来ました。「百姓は嫌じゃないか」と何べんも確かめたが「仕方なし、来るちゃ」という事で何十年も経ちました。

女房は何でも作ったり、じっとしているのが嫌いなたちでひよこ小屋、鶏舎を自前で建てた時も鋸など道具を持って手伝ってくれました。最近では、卵だけでお客さんを呼ぶことは出来ない、卵以外に何かしたいという事で議論し、お菓子を作ろうと意見が一致し、カステラとか洋菓子が良いのではないかとこの事になった。今、お配りしているカステラは神明さんの

祭りでないと食べられない。従業員の知り合いが露天商をしていたので習いに行き、これならできるのではないかとこの事で、9月から露天商の方に家に来てもらい指導頂き、配合、作り方等微妙に調整しながら、現在の味になったのは押し詰まって3ヶ月でした。試行錯誤しながら作ったこの菓子は評判が良く、県外の人も買っていかれるくらい皆さんに喜ばれています。

農協婦人部でみそ作りをしていた時、麴を作る器械、豆を潰す器械も全部家で揃えました。今、人気のあるのは米麴です。昨日も、富山の人「あんたちに売ってあるのは店と違う」と言ってみんな買っていかれた。米麴は肉や魚に付けたり、料理に使ったり、幅拾い使い道があるので結構、人気があります。その他、時期になると食べきれなくなったイチゴを使ったイチゴジャムや1日油断するとみんな小鳥の餌になるのでその前に摘んで作るさくらんぼジャムを作ったり、加工が大好きな女房です。おかげでそんな物がちょこちょこ店にあるとお客さんが喜ぶので、女房のお蔭かなといつも頭が下りっ放しです。

#### 3月25日 宮本君

66歳になります。人生あと20年と考えています。10年間はやわやわ働き、残りの10年間は稲盛さんじゃないけど木を植えたり何かしようと思っています。今は、立場を利用して、YKKさんの跡地を借りようと社長さん、副会長さん、会長さんに直訴状も書いて頑張りたいと思っています。皆さんのご支援をお願いします。



#### 3月26日 生駒君

78回目の誕生日を祝って頂き有難うございました。神明さんじゃないと食べれないお菓子を食べさせていただき有難うございました。

#### 3月26日 辻(英晴)君

56回目の誕生日を祝って頂き有難うございました。坪井先生と3人同じ誕生日だったと覚えています。32年生まれなので、3と2の3月26日で、数字に縁があるのかなあとと思っています。

先日、ある人にお会いしました。誕生日は出れるという人がおられ、3月生まれと言われたので「何日ですか。」と聞いたら「26日」とすぐ言われて、何かどこかに26日と出ているのかなあと頭をひねっています。



## 会長挨拶 寺崎直前会長



野澤会長さんが留守なので代役を頼まれました。宮本先生、辻さん、稲盛さん、生駒さん、皆さん夢と希望を持って元気よく生活しておられることは本当に喜ばしく、嬉しく思います。

皆様方に一言ご挨拶申し上げます。ロータリーは楽しい方が良い。簡単ですが終わります。

## 幹事報告

- ・ガバナーエレクト事務所より 「米山学友ホームカミング制度」推薦に関する依頼
- ・魚津市立つくし学園より 卒園式について
- ・魚津市交通センターより 「春の全国交通安全運動」祈願祭及び出発式について
- ・3月例会案内  
3月29日 会長エレクト交換卓話 (サンルート)  
魚津西RC会長エレクト 原 英高 様
- ・3月SAA補助 杉野、中田 君

## 出席報告 小浜出席委員長

本日の出席者 35名 出席率87.5% 欠席者 5名  
メイクアップ済み 中島さん 坪野さん 吉森さん 野澤さん 寺田さん  
2862回のメイクアップ 生駒さん 中尾さん 三島さん 羽田さん  
2862回の修正出席率 72.5%→82.5%

## ニコボックスの報告 辻英晴ニコボックス委員長

- ・杉野さん→多額の商品券を頂きました。
- ・稲盛さん→カステラを頂きました。

## 委員会報告

### 日帰り旅行について 中田親睦委員長

- ・4月7日の日帰り旅行プランが出来上がりました。雅楽俱で食事をして頂きます。その前に美術館によって頂きゆっくり一日を過ごして頂きたいと計画しました。参加費は会員、ご夫人とも4,000円で、募集をかけますので奮って参加してください。

## 本日の卓話

### 「分校で学んだこと」 中川さん



○大長谷小学校はどこだ。

昭和42年に、富山県婦負郡八尾町立大長谷小学校教諭に補する。  
(東原分校)との辞令を頂いた。岐阜県まで10kmの所にあり、遠足は岐阜県へ出かけた。

白木峰のふもとにある。白木峰は標高1,596mで、駐車場から頂上まで0.8km 50分で行ける。6月～7月にかけて、ニッコウキスゲ等の高山植物が咲いている。

分校は1978年(昭和53年)休校、1984年(昭和59年)廃校となり、校舎は、桂樹舎として移築された。

### 1 日常生活(ライフライン)で経験した事を二つ話す。

私は貧しい坊ちゃん育ちで生活力はありませんでした。両親が健在で「男子、厨房に入るべからず」との保守的な考えも影響していた。

① 「かんじき」と「はばき」

登校前の除雪には、「かんじき」を履き、今ではスパッツの「はばき」を膝下に当て、道を付け、カニの横歩きのようにして踏み固めた。

② 五右衛門風呂

「先生、『お父さん、今日風呂は入りに来られ』と言っとった。」との誘いで家に向かった。薄暗い土間に設置された五右衛門風呂への初めての入浴体験だった。底板を踏んで下に沈め、その上に乗って入る。慣れない為、底板が傾き、側面の鉄に触れてアチチを経験した。その後は決まって酒の席になった。

2 本業である学習指導・授業について話す。

複式学級とは二つ以上の学年を一つに編制される学級です。平成24年度、魚津市内では西布施小学校で2,3年が複式学級になっているが、市負担講師で実質解消されている。富山県内には13校26学級ある。市町村負担講師で実質解消されているかどうかは不明。なお、平成24年度の基準では、14人以上で複式学級になる。1年生を含む場合は8人以上です。余談ですが、魚津に転勤して初めて、分校では2倍の給料をもらっていたことが分かりました。へき地手当、宿直手当、多学年手当を支給されていたからです。

昭和42年4月1日

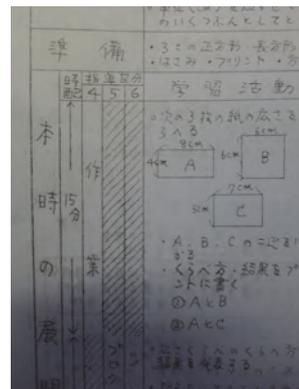
分校には一年生1名、三年生3名、四年生1名、五年生4名、六年生5名で全校児童14名、2名の先生(分校主任と私)、業務員がいた。校長・教頭は月に1回本校から来る事になっていた。

普通、複式学級は1・2年、3・4年、5・6年の組み合わせで編制される。複式学級用の教科書もそのように作成されている。

ところが何と、一年生1名、二年生3名、四年生1名の3個学年複式学級の担任となった。訳も分からず、1年生を中心に取り組んでいた。さすが、この非常事態は1ヵ月で解消。八尾町も見兼ねて町村負担講師の選定を急いだためと思われる。5月以降は、四年生1名、五年生4名の2個学年複式学級担任となった。

昭和43年4月1日

またまた、四年生3名、五年生1名、六年生4名の3個学年複式学級の担任となった。本題に入りますが、どうやって勉強すると思われませんか。今はどうやっているか分からないが、一般的に、作業と学習指導、直接指導と間接指導の組合せが基本である。間接指導の時でも機器を駆使して工夫した。学習指導案で説明した工夫は、常時ではなく、研究会等の機会を捉えて行なった。



○「先生。来年、居らんがいろ。」

この言葉は、勤務して2年目の秋口の子供たちからの問いかけです。背景には、毎年、新任の先生がほぼ100%、任期の2年で転勤する実態があります。私も迷いましたが、結局、2年で転勤しました。へき地での長期勤務者は地元出身の先生と定年間際の先生です。名誉のために言うとはき地教育に命をかける先生です。

2年間の東原分校で学んだことは、「一人一人の子供たちを大事にする、大事にしなければならない」という事です。教育指導の重点も「一人一人を見つめ育てる」でした。

**あとがき**

「川端康成は『伊豆の踊子』を12年もかけて書いているそうです。短い作品なのに。何度も何度も手を入れ直して12年。それでもいじくりまわした形跡を感じないからすごいですね。

究極の小説というのはいかに書かないでいかに感動させるかだということです。」以上、引用。

ロータリークラブ会報誌にも「いかに書かないでいかに感動させるか」の部分があるような気がする。卓話者に、簡潔な要約を求めていきたい気分です。